

2021年度 第47期 一般社団法人浜名湖青年会議所

スローガン ともに前へ

理事長 佐原 大介

～はじめに～

平成という時代が終わり、令和という新時代が始まりました。期待を込めて様々な媒体で令和に変わった瞬間から「新時代の幕開けです」という見出しが躍っていました。令和という時代が始まって3年目となる本年、身の周りで何か変化を感じられたのでしょうか？ただ待っていても新しい変化は起こりません。いつの時代も新たな時代を築くのは青年の責務です。私たちはこの責務を全うするために、JAYCEEとして人間を磨き、地域のリーダーとして、この浜名湖地域を引っ張っていく気概が必要です。まずは、私たちが変われば、その周りが変わる。周りが変わってくると地域が変わってきます。一人ではできないことも多くの人を巻き込むことによって、この地域をより良い方向に進めていくことができるのです。

青年会議所の存在価値

我々青年会議所では、地域の課題を解決するために問題を見つけ、その問題解決のための解決方法を立案し、実行して地域をより良くしようとする団体です。しかし、世間の青年会議所の認知度やイメージはどうでしょうか。47年続いている浜名湖青年会議所の運動の中でも現在に至るまで歴史を培ってきた発明クラブやサマースクール等諸先輩方が作り上げてくださった素晴らしい事業がたくさんあります。毎年様々な事業を行っている中でその事業を浜名湖青年会議所が行っているという事実がこの地域の方にどのくらい浸透しているのでしょうか？浜名湖青年会議所の存在をもっと地域の方に認知していただけるようになれば、私たちの運動の伝播はとてつもない大きなものになるはずです。

私たち浜名湖青年会議所がどのような団体で、どのような運動・活動をしているのかを地域の方に認知していただくために私たち自身をブランディングしていく必要があります。私たちがどんなに良い事業を行ったとしても、地域の方に認知されなければ、ただの自己満足に終わってしまいます。まずは、自分たちが青年会議所メンバーとしての自覚と諸先輩方が今まで築いてくださった歴史に誇りを持ち、地域に必要とされる存在になるということが必要です。現在では、青年会議所以外にも様々な団体が存在します。その中でも我々青年会議所がこの地域で必要とされる団体であり続けることが、青年会議所としてのアイデンティティーを形作っていくのです。

このブランディングの成果が、浜名湖青年会議所や私たちの運動の認知だけではなく、JCだから入会したい、JCと一緒に活動したいという同じ志を持ってくれる仲間を集める拡大活動やパートナーシップに変わっていくはずです。

JC運動の発信とJAYCEEの資質向上

青年会議所は、自己成長をすることができる学び舎です。青年会議所の使命にも「より良

い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供すること」とあります。青年会議所運動は地域の課題を発見し、解決して、解決に導く運動を発信することで地域により良い変化をもたらすことが主です。この運動がどうして自己成長につながるかというシステムをメンバー一人ひとりが理解することがとても大切です。ビジネスでも当てはまると思いますが、自分が正しいと思ってとった行動がすべてのクライアントに喜んでもらえるでしょうか？松下幸之助さんの言葉にこのような言葉があります。「世の為、人の為になり、ひいては自分の為になるということをやったら、必ず成就します。」世の為、人の為になることを一生懸命行うことで、結果として自己成長が約束されるのです。自己成長はあくまでも結果です。私たちは自己成長をすることができる組織に属していますが、自己成長が目的ではなく、青年会議所運動をすることで身に着けた様々な能力や関わってくれた方々との人脈、事業達成による実績が結果として自己成長につながることをよく理解しておく必要があります。このことは人の意識を変えられる地域のリーダーを目指す我々だけではなく、この地域に住む多くの人々に知っていただく必要があります。まずは我々青年会議所メンバーの意識が変われば、メンバーの周りの人の意識に変化が起こります。その周りの人々を巻き込んでいくことによって、最初は小さな変化が大きな渦となります。この意識の変化が続くことによってこの浜名湖地域により良い変化が起こるはずですが、我々青年会議所メンバーはこの変化の渦の中心に存在し、この浜名湖地域をより良くする変化のネットワークを作る必要があります。このネットワークを作っていく過程で、新しいメンバーやパートナーを発見し、SDGsの推進にも寄与することができると考えます。

これからのまちづくり

私たちの住む浜名湖地域には、多くの魅力が集まっています。浜名湖や湖西連峰をはじめとする自然や、海産物やみかんなどの農作物、畜産をはじめとする食の魅力があります。また、豊田佐吉翁から始まったものづくりの精神もあります。人口一人当たりの製造品出荷額は、自動車産業を中心とした工業の発展により全国5位です。畜産に関しては、豚の飼育頭数が静岡県下で1番となっており、誇れる特色があります。

しかし、湖西市内の中学生を対象としたアンケートでは、今は湖西市が好きだけど、将来は湖西市を出ていく、または湖西市で働かないという答えが半数以上あります。私たち大人が自分の住む地域のことを知らないがゆえに、これからの未来を背負っていく子供たちにこの街の価値を伝えられていないのであれば、この地域はなくなってしまいます。身近にあるものが魅力だということを認識することは難しいことですが、まずは、浜名湖地域に住む私たちがこの街にどのような特色、産業があり、どの部分が誇れるところなのかを知っていくことから始める必要があると考えます。地域の大人たちがそのことを理解できれば、おのずと魅力や特色を発信することができ、子供たちを含む地域の方も地域の外にいる方にも浜名湖地域の魅力が伝わるはずですが。

また、街の未来を考えると新しい変化にも目を向けていく必要があります。技術革新によるイノベーション、2022年から始まる成人年齢の引き下げや選挙権年齢の引き下げに伴

う変化も自分たちが住む街に関心を持つことへの大きな手助けになると考えます。

この浜名湖地域が現在も、そしてこれからも誇れる街であり続けるために一丸となって街の価値発信に取り組みましょう。

出向

青年会議所には、出向という制度があります。私も何度も出向させていただき、多くの学びや成長の機会を得ることができました。初めて出向したときに聞いた言葉にとっても影響を受け、今でもその言葉を信じて日々前に進んでいます。「人の成長は出会った人の数と移動した距離に比例する」という言葉です。出会った人の数は単純に人との出会いの数です。移動した距離というのは、自分の能力や活動の範囲外に出るということです。普段の自分の活動範囲内にしかいなければ、新しい変化に出会える可能性が減り、成長できる幅には限界があります。自分の知らない外に出て、色々な人と出会い、様々な経験をしていくことで大きな成長があるはずです。自分の知っている範囲の外に出ることは自己成長への新たな一歩です。

共感という輪

技術革新によるイノベーションや多様性、グローバル化など世の中の回るスピードがとても速くなっています。今までの常識が通用しない可能性があり、私たちが何か変化をもたらそうとしても、スピード、規模の点からみて私たちのみで変化を起こすことはとても難しい時代となることは明らかです。青年会議所が自らの存在価値を高め、メンバーがより良い変化を起こすアクティブシチズンとなり、結果としてメンバー一人ひとりが自己成長をし、多くのパートナーや新しいメンバーと一緒に運動をできるようになる必要があります。多くのパートナーシップを組めることや新しいメンバーが入ることがこの地域を前へ進めるための力になります。何事も自分たちだけでやるのではなく、たくさんの方を巻き込んでスピード感とスケールメリットを生かしながら進めることが大事です。

結びに

昨年の新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活や仕事、人の感情に大きな変化が起こり、今までの当たり前が当たり前ではなくなってきました。私たちも多くの運動、活動の変更、中止を余儀なくされ、経済活動においても大きな損害が出ています。そんな将来への不安が押し寄せる中でも我々は前へ進み続けなければなりません。自分たちの未来は自分たちでしか切り開くことはできません。このピンチをチャンスと捉え我々青年が率先して行動を起こし、地域により良い変化を起こす必要があります。変化をすることに対しては多くの困難が待ち受けています。しかし、我々には、多くの仲間がいます。そして周りに変化を起こし、巻き込んでいく力があります。我々がアクティブシチズンとなり、明るい未来を描いていきます。

ゴールが見えないなら走り続けよう！迷ったら思い切って飛び込んでみよう！ワクワクしないなら思い切って常識を疑ってみよう！

浜名湖JCのメンバー一人ひとりが地域のリーダーとなる資質を備え、地域を引っ張る人材となり、パートナーとともにこの地域が前へ進むために

基本計画

1. 青年会議所のアイデンティティーの確立
2. 青年会議所のブランディング
3. JC運動の推進
4. JAYCEEの資質向上
5. パートナーシップの拡大
6. 新規会員拡大5名